巻 頭 言

Preface

一般社団法人日本質量分析学会
会長（代表理事） 和田芳直

Yoshinao WADA, President of the MSSJ

日本質量分析学会は、60年余の任意団体を経て、2015年に一般社団法人となりました。これにより学会が人格をもち、学会名で通帳が持てるといった法的なこと以外に、社会的信用が増し、社会に対しての発信力が強まることが期待できます。そして、法人化は本学会の役割を見つめ直すよい機会となりました。

日本質量分析学会誌JMSSJ（以下、会誌）は1953年に刊行を開始した世界で最も長い歴史をもつ質量分析専門誌として、原著論文や総説、解説などの記事articleを掲載し、また、会告をはじめとする会員への情報伝達を担ってきました。一方、会誌に掲載される論文は英文・和文を限定しませんが、2012年に英文誌*Mass Spectrometry*をスピンオフ刊行開始したことによって会誌の性格と役割は明確になりました。すなわち、会誌は、日本質量分析学会が質量分析に関する知識や新しい知見・技術をわかりやすくかつ信頼性の高い情報として社会に伝えるための媒体です。

会誌はこのような社会に対して開かれたものであるとともに、また、会員に対して質量分析学や質量分析の技術をいち早くお伝えして知識を深めていただき、また、仲間である会員がどのような活動を行っているかを知る情報交換の場として機能することで、会員特典として配布される会誌の意義は明確です。

これからの会誌に期待していただきたいと思います。